

《第48回戦跡ハイキング》 京都府・丹後半島の旅

台風17号の影響で9月21日～23日の3連休の天気予報は風雨、大雨など。多くの山岳会が中止されるなか、連盟・戦跡ハイキングは実施することに。21日～22日、丹後半島の旅を楽しんできました。天候は初日は小雨、二日目は曇り、総勢17名の大グループの旅です。***丹後半島経ケ岬米軍Xバンドレーダー基地**、伊根町蒲入漁港(漁港めし)、布引の滝水源を探る山歩き、伊根町筒川文化センター(泊)、海上タクシーによる伊根湾巡り、天橋立ウォーキングと多彩なメニューを満喫。宿舎でも兵庫県連2名の方も含めて9つの会の交流でも盛り上がり、有意義な二日間でした。(大西)

参加された山岳会・クラブ 吹田労山3名、泉州労山3名、きたろう2名、安治川2名、ハイジ2名、ピトン1名、こもれび1名、モンテス1名、兵庫県連2名 計17名

*京丹後市宇川・米軍レーダー基地…「山陰ジオパーク」と呼ばれ、変化に富んだ美しい景観が広がる京都府・丹後半島。海岸沿いの国道を走ると、突如、不気味なレーダー群が姿を現します。京都府北端の経ケ岬から約1km、北朝鮮をにらむ日米の「ミサイル防衛」基地群です。国道沿いに1000km先まで探知できるという「Xバンドレーダー」が置かれる米軍基地がありおます。この基地は2014年に完成し、その後不停波問題や軍人の交通事故など諸問題が続出しています。今回は地元で毎日、基地の監視を続けておられる「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」の永井友昭事務局長に米軍基地の実態を説明、案内をしていただきました。



穴文殊にて、このフェンス越しにXバンドレーダーの格納庫があります。



米軍基地建設を憂う宇川有志の会事務局長・永井友昭さんに米軍基地の説明をしていただきました。

戦跡ハイキングに参加させていただいて 兵庫県連(機関誌部) 蟹沢久美子

昨年春、舞鶴の引揚記念館見学と伊根町の旅に参加させていただいたのに続き、今回、京丹後市の米軍基地調査と丹後半島の山と海と食を楽しむ、てんこ盛りハイキングに参加させていただきました。

沖縄の米軍基地問題はマスコミを通じて多少知っているつもりでしたが、身近な近畿に米軍基地があるとは、恥ずかしいですが、全く知りませんでした。実際に訪ねて、見て、

聞いて、沖縄と同じ現実があることを知りました。航空自衛隊基地が隣接していて、米軍基地との間には、里の人たちの信仰を集めている穴文殊さんと呼ばれるお寺があります。不似合なその景色が現実を語っているようです。ドクターヘリがレーダーの「停波承認」という約束から一転して「停波不能」により救急搬送が遅れた問題は人命に関わり、心が痛みました。

昼食は蒲入漁港で（漁港めし）をいただきました。「多くて食べきれませんよ！」と言われていたとおり、新鮮な刺身をはじめ、お膳満載。別に運ばれた「てんぷら」は夜の宴会のお楽しみにいただいて帰りました。続いて、幻の滝「布引の滝」へ。地元ガイドさんの案内で山道を歩いた先に落差 97m の見事な滝がありました。普段は涸れているそうですが、雨のため水量が多く流れ落ちる大瀑を見ることができ、ラッキーでした。滝を渡るときは、足元が濡れて滑りやすく、緊張の一瞬でした。宿舎は前回同様筒川文化センター。廃校となった小学校をリニューアルした簡易宿舎です。悪天候でキャンセルが出て私たちの貸切となりました。佐々木さんのピアニカ伴奏で山の歌が始まりました。最近では山の歌を歌う機会がめっきり少なくなったのが残念です。

翌朝は雨も上がり、伊根湾めぐり。ウミネコに向かってえさの「かっぱえびせん」を空中に投げると、一斉に寄ってきて、その見事なキャッチぶりに歓声が上がります。「海から見る舟屋（1 階は舟のガレージ、2 階は居室）の形は何に見えるか？」という船長のクイズ。答えは「将棋の駒の形」です。うーんなるほど！ 次は宮津市の天の橋立に移動。約 3.6km の松並木を歩くと廻旋橋です。廻旋橋は橋の下を大型船舶が通るたびに 90 度旋回して、船を通す珍しい橋です。帰りは定期船で松並木を眺めながら戻りました。最後のお楽しみは福知山市の山里にある「うまいもん処」の水車定食（日曜日のみ、限定 40 食、800 円）に舌鼓！水車が回る横でいただく、地元の食材を中心に丁寧に作られたお膳でした。場所的に知る人ぞ知るというお店でした。大西さんのきめ細かで、楽しさ、驚き、美味しさ満載のプログラムは無事終了し、帰路につきました。

他府県同盟の方との交流では、同じような悩みを語り合ったり、成功談を聞かせてもらったり、学ぶところが多くありますが、何よりも山が好きという共通点で、たとえ初対面でもすぐに打ち解け、懐かしい気持ちになる良さがあります。2 日間、本当に楽しく過ごさせていただきました。大西さんをはじめ、お世話になった大阪労山の皆様、ありがとうございました。

第 48 回戦跡ハイクに参加しました

佐々木雅博（こもれび）

お誘いの文句「いっぱい歩いて食べて、学んで…」に誘われて参加しました。今回の見どころ、食べどころ、学びどころがてんこ盛り、布引の滝、伊根湾巡りと舟屋、筒川文化センターでの交流会、天橋立 3.5km のハイク、丹後半島・経ヶ岬の米軍 X バンドレーダー基地とたくさんありましたが、レーダー基地について感想を書いてみました。

この基地は 2013 年から用地買収が始まり、14 年 12 月に完成したレーダー基地で周波数 10GHz 周辺の電波を使うため X バンドレーダー呼ばれている。1000km 先のものを 10cm 単位で感知できる優れもの、北朝鮮のミサイルから米国本土を防衛できるといわれているが本当か？

丹後半島の先端・経ヶ岬に位置し直ぐ隣に穴文殊（あなもんじゅ）さんと呼ばれている曹洞宗のお寺があり景勝地で国定公園地域内でもある。

レーダーそのものは 13m×3m で半円球の格納庫に入って中は見えない、周辺も建物が数棟あるだけで巨大な基地ではなく穏やかに見える。

地元で建設当初から反対運動を進めている「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」事務局長・永井友昭さんから穴文殊さんの歴史とか基地の建設経過、京丹後市の対応など丁寧に聞かせてもらいました。米軍関係者の交通事故や発電機の騒音トラブルが頻発しても「日米地位協定」が壁になり日本の法律が通用しない。ここは「日本」であることを主張して闘っている、と穏やかに話されました。

私たちが訪問した日は建設工事が始まってから5年と118日(1944日)でした。大阪に帰ってFacebookで「憂う会」を検索したところ毎日誌1921号に大阪府勤労者山岳連盟の方々、10数名の訪問を受けたと書かれていました。日本の平和のため小さな町で巨大な敵と闘う凄い人がいることを知りました。米軍に土地を売り渡さなかった農家から土地管理を任せられ芝生と花壇を作り、団結の誓として守っている姿は沖縄や矢白別(北海道)の闘いを連想させてくれました。

Facebookで「憂う会」を検索して「いいね」を入れてください。



14日の夜は17名で交流会を…



筒川文化センターは旧小学校跡を利用した施設です

戦跡ハイク感想

川上洋子(女性ハイキングクラブハイジ)

「合衆国区域(施設)在日合衆国軍隊」…と看板が掲げられている米軍基地周辺を見学した。そもそも戦跡ハイクに参加したのは、丹後半島伊根町の表示に反応してのことで、何度も丹後半島に足を運びながら、伊根は対岸から眺めるばかりであった。おまけに漁港での漁師めし…浦島伝説第一号神社経由布引の滝にも興味はあったが何しろ食い盛り…行かねばと参加した。

第一番目の見学が、この京丹後の経ヶ岬宇川の米軍施設で、どこかで幾つかの米軍基地も見た、沖縄でも低山ではあるが登っていったその先に鉄条網があるなど…この基地は、木一本みだりに切れないという地元住民にとっての霊地である神社を取り囲み占領し設置されていた。神社の本殿を裏に回りこみ、塀越しに内側からしきりに写真を撮られ乍ら見学し、看板が目に入った。

ここって外国やんか〜!などと幼稚極まる思いと共に、治外法権あるいは日米地位協定などという言葉も頭を巡る。民間地の上に近畿初の基地が出来たという。昨日まで田や畑を耕していたそこに基地が出来ており、多くの反対運動も市への交付金が国より降りたあたりから下火になっているようでもあり、情報としてはかすかに聞いたような話もこのように目の前に突きつけられると、改めて「日米安保協定」の現実を改めて知る…そんな旅の出だしであった。

勿論漁師めしはとれとれ魚尽くしで大満足。未だにやだれが出そうなほど満腹飯でした。